

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 雪の降りたる朝、庭はひとしほ清らなり。
- ② 月の出づるを待ちて、人々酒を酌み交はす。
- ③ 白き鳥の、嘴と脚と赤き、水の上に遊ぶ。
- ④ 花の散るを惜しみて、夜もすがら眺め明かしつ。
- ⑤ 我が思ふ人は、遠き国にこそ住みけれ。
- ⑥ 君が植ゑし松、今は大きな木となりにけり。
- ⑦ 風の音にぞ、秋の来ぬるを知らるる。
- ⑧ 白雲のたなびく山を、はるかに仰ぎ見る。
- ⑨ 翁、竹を取るに久しくなりぬ。さやうの人にてありけり。
- ⑩ この歌は、貫之のなり。世にあまねく知られたり。
- ⑪ 弓矢して鳥を射るは、いと心なきわざなり。
- ⑫ 友として都へ上る道、いとはるけし。
- ⑫の二 童して文を持たせ、姫君のもとへ遣はす。
- ⑬ 京より下る人に、ことづてを頼みけり。
- ⑭ 鐘の声を聞くより、涙のとどまらず流る。
- ⑮ 雪は花より白く、月の光に映えてさやけし。
- ⑯ 山里にて聞く水の音こそ、心すむこちすれ。

設問

1. 傍線部①「雪の」の「の」の用法を、次から選べ。
 - ア 主格 イ 連体格 ウ 同格 エ 準体格 オ 連用修飾（比喩）
2. ②「月の出づる」の「の」の用法を答えよ（主格・連体格・同格・準体格・比喩のいずれか）。
3. 傍線部③「白き鳥の、嘴と脚と赤き」の「の」（同格）の意味に注意して、傍線部を含む一文全体を現代語訳せよ。
4. ③「白き鳥の、嘴と脚と赤き」の傍線部「の」の用法を答えよ。また、なぜその用法と判断できるか、文の構造から簡潔に説明せよ。
5. ④「花の散る」の「の」の用法を答えよ。
6. 次の各文を現代語訳せよ。
 - (1) ④「花の散るを惜しみて」
 - (2) ⑭「鐘の声を聞くより、涙のとどまらず流る。」
7. ⑤「我が思ふ人」の「が」の用法を答えよ。

8. 傍線部⑥「君が」の「が」の用法を答えよ。
9. ⑦「風の音」「秋の来ぬる」の二つの「の」の用法を、それぞれ答えよ。
- (1)「風の音」の「の」
 - (2)「秋の来ぬる」の「の」
10. ⑦「秋の来ぬるを知らるる」の傍線部「を」は格助詞である。この「を」の文法的なはたらき(格)を答えよ。
11. 傍線部⑧「白雲の」の「の」の用法を答えよ。
12. ⑨「さやうの人にて」の「にて」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 場所 イ 時 ウ 手段 エ 原因 オ 資格
13. ⑩「貫之のなり」の「の」の用法を答えよ。また、この「の」はどんな語の代わりをしているか答えよ。
14. ⑪「弓矢して」の「して」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 手段 イ 使役の対象 ウ 共同(～とともに)
15. 傍線部⑫「友として」の「して」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 手段 イ 使役の対象 ウ 共同(～とともに)
16. 傍線部⑫の二「童して」の「して」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 手段 イ 使役の対象 ウ 共同(～とともに)
17. ⑬「京より」の「より」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 起点(～から) イ 経路(～を通過して) ウ 即時(～やいなや) エ 比較(～よりも) オ 手段(～で)
18. 本文中で用いられた「より」のうち、「即時(～やいなや)」の意味で使われているものを、番号で一つ選べ。
19. 傍線部⑭「聞くより」の「より」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 起点(～から) イ 経路(～を通過して) ウ 即時(～やいなや) エ 比較(～よりも) オ 手段(～で)
20. ⑮「花より白く」の「より」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 起点(～から) イ 経路(～を通過して) ウ 即時(～やいなや) エ 比較(～よりも) オ 手段(～で)
21. ⑯「山里にて」の「にて」の意味・用法を、次から選べ。
- ア 場所 イ 時 ウ 手段 エ 原因 オ 資格
22. 同格の「の」は「～で」と訳するのが原則である。次の傍線部「の」を、同格であることがわかるように現代語訳せよ。
- 「白雲の、峰にかかりて山の端も見えぬ」の「白雲の」